

# 『天理時報』のさらなる普及活用へ

## 「天理時報」普及推進大会開催決定

12月1日(土)

愛媛教務支庁にて

講師：西浦忠一先生  
(本部員・道友社長)

スローガン

「ようぼく家庭に、もれなく『天理時報』を  
「手配りひのきしんで、教友の絆を深めよう」



発行所 〒790-0852  
天理教愛媛教務支庁  
松山市石手5丁目8-27  
TEL 089-921-7372  
FAX 089-932-3521

昨年10月25日「天理時報手配り10年ひのきしん者感謝の集い」での真柱様のお言葉を頂いて、愛媛教区では12月1日(土)に、西浦忠一先生(道友社長)をお迎えして「天理時報普及推進大会」を開催させて頂きます。

◎天理時報は、  
現在、愛媛教区の天理時報平均購読部数は5・7部となっています。

◎天理時報は、「教祖」のお言葉を運んで下さる。  
「おちば」の声を運んで下さる。

◎天理時報は、「勇みの種」が沢山詰まっている。  
一人でも多くの人に読んで頂き、にをいかけ、おたすけの上に活用させて頂きたい。又、手配りひのきしんの上に238名の方々が尊い汗を流しておられます。誠に御苦労様です。心より御礼申し上げます。上記のスローガンを目指して、年末の忙しい時期ではありますが、天理時報普及推進大会のご案内を申し上げます。

愛媛教区代表社友 三浦 義雄

### 「1カ月無料送付サービス」

### 付きキャンペーン

2018年4月1日～2019年3月31日

問い合わせは、道友社定期購読受付まで

電話 0743-63-4002

天理時報は  
《ようぼくの機関紙》。  
お道の情報を共有し、  
仲間意識を培い、  
共に歩むうえで  
なくてはならない  
心を養うツールです。

## 『布教の家』での1年間を振り返って

河内 恭子

直属：岡山大会 所属：後楽分教会

春四月、石手川沿いの満開の桜をくぐり抜け、人生初めての戸別訪問の日々が始まりました。

寮生二人、嬉しいことに初めから息がぴったり合って、一日の終わりに並んで十二下りをつとめさせて頂くのが日課になるなど、心の底から楽しく勇んだ毎日をごさせて頂きました。

親神様、教祖の深い思召から、この愛媛寮にお引き寄せ頂いたのでということを感じない日はありませんでした。

「やさしい心になりなされや。人を救いなされや。癖、性分を取りなされや。」（教祖伝逸話篇<sup>123</sup>より）

数々の出会いや、喜びや節を通して、まさしく噛んで含めるように、教祖からこのお言葉をお諭し頂いた一年でした。誠に勿体ない限りでございます。

教区长様、奥様、寮長先生をはじめ、教区の諸先生方の温かい親心を頂いて、本当にこの上なくありがたく結構な寮生活を送らせて頂きました。

誠にありがとうございます。

このご恩を忘れることなく、これからもまっすぐ、教祖のひながたを辿らせて頂く所存でございます。

佐野 真知子

直属：船場大会 所属：南児分教会

船場大会創立百三十周年に向けて、大教会長様が掲げられた「ようぼくへの成人 ようぼくの成人」の目標を胸に、ご恩報しの思いだけで何もわからずに飛び込んだ布教の家でしたが、おかげさまでかつて経験した事のない、中味の詰まった濃い一年となりました。毎日、にをいがけに歩く中で、多くの方々との不思議な出会いを頂き、また自分自身の因縁に気付かされ、癖性分と向き合った一年でもありました。親神様より親心溢れる節を幾度も頂戴しましたが、節を通して思案を重ね、心を磨いて頂き多くの事を学ばせて頂きました。こんなにも親神様のご守護、教祖のお導きを身近に感じさせて頂き、日々全てが有難い、嬉しいと思え、感動感激の充実した毎日を送らせて頂く事ができたのは、布教の家愛媛寮だからこそと思わせて頂きます。

教区长先生、寮長先生をはじめ諸先生方、書記先生ご家族にはいつも温かくお見守り下さいます。誠に有難うございました。親神様の深い思召によりお引き寄せ頂いた寮生二人。私は河内さんと共に過ごさせて頂き、言葉では語り尽くせない大切な宝を頂きました。大きな心で包み込んでくれる河内さんがいなければ、通る事のできない一年でした。

卒寮後も日々変わらぬ誠の心で、心だすけの道を歩み続けたいと存じます。この布教の家愛媛寮で私は、にをいがけ、おたすけは真実の心ひとつあれば、いつでもどこでも誰にでもできる、という事を実感させて頂きました。親神様、教祖にお喜び頂けるよう、理づくりの励み、思召に沿ってどんな中もコツコツと心勇んでひながたの道を辿らせて頂きます。

お世話になりました愛媛の皆様にご感謝申し上げます。本当に有難うございました！

【青年会創立百周年に向かつて】

リレーエッセイ③

『わたしの日々の陽気ぐらしの実践』

道前支部青年会委員長

鎌田 泰司



今年1月、中学校の同窓会があった。友人親子に迎えに来てもらい、教会に来るのは初めてだったので、初詣も兼ねて参拝していただき、新年早々初参拝者2名をお与えいただいた。

私は学生の頃、交通事故で明日をも知れぬ命のところをおたすけいただいたことがある。その時の事を同窓会で話しながら、名刺代わりにリーフレットを渡していた。そんな中、友人A君だけはリーフレットを受け取ってくれなかった。まあ仕方ないと気持ちを切り替えて他の子と懐かしい話をしていた時、私の後ろからやってきたA君が、いきなり私の頭を叩いたのである。交通事故で頭を強打していたので、医者からは「次は無いよ」と言われたのを思い出し怖くなっていて。その事が自宅に帰ってから気になっていたので、

A君に事の由を伝えた。すると、A君に「夜会えないか」と言われ、次の日の夕方、A君が初めて教会にやってきた。今まで、私は同級生を教会に招き入れることはあまりなかったが、A君は素直に神殿に上がってくれ、会長さんに神様のお話と私の事故の話をしてもらった。しばらくして夕づとめの時間となったので、一緒に夕づとめを参拝してもらった。その後、A君と外に出て話の続きをしていたが、仕事を終え、急いで謝罪に来てくれたA君に対して、すでに恨みは無くなっていた。むしろ一緒におつとめが出来た喜びのほうが大きかった。心のほこりを払うおつとめって、本当に有難い。「二度と頭は止めてくれよ(笑)」と言って握手を交わし、リーフレットを受け取ってくれた。

私が同窓会に行く時、神様に「にをいかにいってきます」とお願いしたことを神様が実行させてくれたのかもしれない。初参拝者1名である。

心を動かして  
世界を拓け

布 教 部

【成人講座開催】今治支部

3月7日、幾志分教会において、後藤洋一先生(愛布教所長・成人講座講師)をお迎えし『よふぼくかがやきプログラム さあ、ひのきしん』をテーマに、よふぼく成人講座が和気あいあいとした雰囲気の中で開催され、34名の方が受講しました。

テーマの通り日々の生活の中で、よふぼく信者の方々に輝いていただく為に成人講座は行われますが、今回は改めて「ひのきしんとは何だろう?」ということを、班別司会者を中心とした6人制の班別ねらいと講師のお話を通して勉強しました。

今回の受講者の感想です。  
「ひのきしんは気づきが大切で、いつでもどこでもさせていただけることが理解できた。」

「言葉づかいが苦手な私だが、日々の生活の中でも相手を思いやって発する言葉自体がひのきしんに繋がることを身に染みて感じた。」

今治支部布教部

宇佐見 教一



天理直行高速バス

4月教祖誕生祭

添乗担当者 二宮 哲男

090 2895 7197

4月月次祭

添乗担当者 楠橋 眞治

090 1578 5181

高速バス専用携帯電話

080 2991 7372

教区「これから」の予定

4月1日 松山南支部 例会

2日 松山東支部 例会

西字和支部 例会

4日 松山北支部 例会

7日 女子青年例会

8日 松山お城祭り・道楽

11日 教区輸送会議

12日 教区報編集会議

14日 会計監査

23日 学生会 新人生歓迎会

28日 青年会 父親講座

29日 T.E.S.N.会議

少年会例会

30日 主事会・常議会

諸願書受理

(3月お運び分)

内海村分教会(高岡)

▽任命願 黒田眞人氏辞職の為、黒田友善氏へ変更

「法人関係諸願書届」

八幡濱分教会(中河)

▽代表役員変更登記完了届

布教所解散届

◎新居浜支部

都布教所(川之江・別子)

受理日 平成30年1月29日

◎今治支部

清志布教所(中和・瀬戸路)

受理日 平成30年1月25日

◎松山西支部

西長戸布教所(川之江・吉田浜)

受理日 平成30年1月15日

一れつ会寄付金報告

3月10日現在

宇摩支部 1件 11、500円

道前支部 3件 3、000円

今治支部 10件 12、500円

松山北支部 1件 1、500円

松山南支部 3件 8、000円

松山西支部 3件 11、000円

訃報

次の方がお出直しされました。慎んで哀悼の意を表し、その労をお縞い申し上げます。

光宗 筆雄さん 享年66才

清志布教所長(中和)

出直日 立教180年12月25日

二宮 勝己さん 享年85才

瀬戸路分教会前会長(中和)

出直日 立教181年2月9日

白石 正義さん 享年80才

媛松分教会長(阿羽)

出直日 立教181年2月19日

修理人巡教 予定

4月～10月 宇和島支部



Q8 薬を服用していると、献血はできないのですか？

病気の種類や薬の種類によって献血をご遠慮いただくことがあります。しかし、ビタミン剤及びごく一般的な胃腸薬などについては、内服していても特に支障のない薬です。

また、医師による処方が必要な薬の服用は、献血者が治療中であると考えられるため、献血者自身の健康を考慮し、献血をご遠慮いただく場合があります。

外用薬、坐薬、点眼または点鼻薬などについても、医師の判断により献血をご遠慮いただく場合があります。